彩板

地もとそとそと

九

へ遠3
1.913
4

へ 13
門 弟 巻

牧羽流

京北白川の小たきのあなかいの深和尚堂の雑人あり。ある時世うつりく衰いふたくてとづくふ名のくまりぬこの養所のとくくあり。文明年中に病僧牧羽流そこに住して年ごろ傷あり世をいとふて山院の里ふひきこりのぞおもをしてこびて毛づくふ物をこのみ月の中さ人〻ら〇てのあるを年ごろそのをぐさをあつめ市ふ商ひ慣よとづくを。薬にくそのを流さらいとりそくのつくたるとをすをつぐさふにくちぐづくく模文わ毛くこあり。伽羽流ひ所しりひ所てさ流くおうとを。

りとうれ[illegible]のをれ中[illegible]のぢりそれたりかの[illegible]
ものうらのゆうざるかもあくらざるかもものとうの[illegible]
けるかぞれはよこの人よあ〜ぢとこ〜ちとうぶ〜。ぞうく間ぞし
て時とうとぞ。ぞんぞこ新の[illegible]男乃勇[illegible]
のゆまでもその源さ把とけづるふ。伝教いぞ三〜ざるよ地り
うまとうせのうくゆくぞこ海ぞるとのすまのあうとうづぶく
かうとうぞり伝教同ぞるハ者の間よハかれて新法ようぶ[illegible]
して四方ぞるハ何ゆくぞやこ。和尚通とて人々るハをてて天地百地
ぢうとうぞ〜ありとゆぶぢもぞつぶる和ハ者さ宮ぞるふさつの和か
〜ぞうれかと者うふんと方あとて天のぞうとハ者く地のぞうとハ
方ぞり。者さい地よかこうぞ〜ぶる和。方ぞるハ地の四〜さ和ぞり。
それぢつぶるハ百地よかこうぞめ〜て三ぞも百地よくぶるぞ〜

して聞ゆかぶぞれとあ〜ぞて所よかぶぞりとうふ伝教のい
く者の宝者ハぞるりぶかるく細して落〜とれいづさのぞうと藏
和ぞるこ。和尚こ人ぞるハれ人珠の者ぞるづく天よの者ハら珠
とうぶぢもぞ者の者ハらふぞうさふ珠ぞなハらふ伝教ぞうくハ
ゆか〜人ぞるふ〜ぞ〜ぞりひてうくまく宮けるハ者尚〜ハいるふ
ぞるふぞ者のりぞのぞうふ人ぞの人ぞうふ〜ひ伝教のたんうさよ
とりてこもまりて和尚ぞれ。者ぞるとぞるりうまハぞるぶ。者ぞて
者の〜ぞぞもぞうめぞれんりのぞぞハ日もぞるぞうりぞ〜海
ぞさんて者ぞとぞ〜ぞるぞのゆく海ぞ〜ぞれぞ。ぞりの者
うぞ。者ぞるりうあて行者ぶのおけてぞ者ハぞ〜ぞるりの
日里人ぞうのぞ〜ぞその和ぞと海ぞうせ〜ぞるよ人ぞりのりひく
行の者ぞりぞその中小教百人ぞとぞ者ぞりぞ。ぞハりもの伝教

とりてとらふ和銅通寶の古錢なりけりつくりかたは粉炭和銅
山陰の粉炭なりけるものとぞ思ひて世をわたる間人をとぶらひ給
和銅なりけれとなほ。この人の子孫にあらはめりあやしうなりて
こと東ごとに。しるし事なる人なり。天皇十三代の天皇成務帝の七月ふ
武蔵秩父の郡にて金をとりてたてまつる。その時の銭はのこる
郡司の文よりまいりける。これより和銅をとりつくる。文字をあらためく
和銅えもとなえあり。山年をとりつくる。銭を鑄
こと。さらに。これ今の和銅黒寶の古銭は。時の銭なるべし。慣
のかの。黒く用ゐるなり。これ銭の世なりけるのひとつ。これ
和銅の衣のかんの銭のとりさし銭のとりさし銭のとりさし和銅なるなり
しかの和銅黒寶の時せるなり。秩父のもとにいりて和銅のあるそ
めりなるなりとなりこのなりぬ。銭なるめづらしくめづらしく

いひなりと。銭のようにひとつとなりぬ。そこに銭のなりぬ
の赤さい天ふかくなり。光の市なるハ地ふかくなり表裏に銭湯
なり。文字の数ひとつにふくなりぬ。その文字とあるなりて天下
に賑ひ。裏に。銭なれ。なるくして。なくなくして。なる
くあるなり。宮殿なるなを銭。ひとつ人ばかりとなる。銭をなるなる人
を銭となんていはとなく。社なる銭の銭なる。銭なるの銭
あり。樂天なる銭の銭ハ人なるにあり。銭を
なるなる。長なるなるなる。銭なるなる銭なる
ていはなる。食なるなるなる。銭なる人銭なる人銭なる銭
人の書作なるなる。銭なる。銭なる。銭なる。銭なる。銭なる
銭なるなる。銭人なるなる。銭なる。銭なる。銭なる。銭なる
なるなる。銭人なるなる。銭なる。銭なる。銭なる。銭なる

とうやうひしづき」がはなはだしかりけるに、
ゆゑ[illegible]ぬ。[illegible]
[illegible]

○蒙古襲来絵詞

甲斐の[illegible]小[illegible]安[illegible]馬[illegible]
[illegible]
[illegible]

いそもく武田信玄ハ智謀武勇を兼そなへ軍ハ
つを四国にしたがへ其威風ひとりかがやく
たゝふるに足ハ流水のごとく強軍ハ山のごとし
しらふにたり氣象のいさぎよきを
もつて高武をかうとし法令よわとりとめびかり戦国の
ろ人ハ掠らをて一生ちゝ小数のさゝふるゝ所
そなへ者実の勇名とをるゝとゝ雖ども多ハ勢の
ゆゑ小利とわく大を捨てるゝ所ハ
たるゝ美をとりゝその威ハたゝくかゆさかゝし業創の功とをげど
たゝうゞ仮ハ人さうのと犯されゞろばりけてつゝ小その大事を
しんありゞらゝ人ハ勇名ハ強ハいづるの法ゝ
一法をさゝれゝたゝ一あとまりて偏ハ地ゞを要化ハ

ゐぐくそこらゐまわりの人播磨なく源頼朝ともだのびびでゝかしらとそ
ゐるとゝもに一宮ちゞさとゝれもに一時ゐりこゐもに一時ゐりゝ天
命ゐかうゝびゝて八大果い墨いくゝびゝその中ゐ小果氏廉へそのひ
うれつゝさりつゝとも遍わかてゝくんとゐつ面篤実けてゝきゝ
とおさめ軍三係ゐりて幸をを国くし敵よ猶よ面ゝ猶どわゞ
いさわひとゝうて岩とつゐやゝだ天のさいゝいを猶くゝあくう
さゝゝとをゝどゝこのかよれゝのゐ平ゐくゝこれをゝ
ゐらびゝつゝゐ小猶義と内ゐ源ゝして遍猶とゐふわゞゝこひゝとゝいゝゞを
時よのゝゝてゝ八孔將よゐちゝびゝ氏廉ハゝゞわとゐのゝゝてつゝゝの
とゐゝゝこのひゝかよ武勇ハ夫よ伝吉遍伝よとくまてゐゐふ猶ゐ
されゝ当文の遍ひゝすぐれゝく弟剣の地果とゐ面ひゝのゝとゝ
ゐゐあをゝゐくとゝつゐゐふ大果とゝこのゝすかゐひ猶その

第ゐいゝゝう俗ゝゐふいゝゐりゝとゐゝをその時多田猶猶ゐ時ゝゐ
て猶ゐの猶義ゝ猶をその理ゐありとゐゝゞを弟ゝいゝゞゐゐゐの
奥俗ゝゐゝひゐゐんや宝めゝく猶さんゐゐゞゝそれゐよの地
を鎌倉の完ゐりゐゞゝゐゐ伝吉遍伝氏廉ハと武田の中
猶田猶ゐのゐふゐりも義てゐゐゐとゐ人を文猶田よ
ゐる小墨とゐゐび猶とゐゐとりゞゐゐゞゐゐりゞあをその中ゐ猶ふ
を小地ゐゐくゝゐ文のゐゐよ猶ゐゐゐゝよゐゐゝゝゐゐゐゐゐ時義よゐゐ
をゐゐとりゐて伝吉遍伝氏廉の三ゐ八鼎のゐゐゝゞくゝをゞゞゐ
たゞひよ義とゐゐゐとゐゐゞもゐゐゐゐゐゐふゐ身住ゐゐ乃大ゐゐとゐをれば
ゐよゐゐゝゞゝ尾州織田信長をゞゐ小家剣大果のゐゐゐゐゞ
あゐて。を田ををゐゐゞ源大宝ゐ及ゞゐ猶信長の幸猶田の
今門第えゐゐを猶ゐのゐれゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ

[illegible]ばかりの長さ[illegible]
源義俊の伝記を討て新[illegible]
ちう書[illegible]その孫と武田彷彿の[illegible]
府ふつつかなく[illegible]
伝記の機とり追[illegible]
[illegible]
第[illegible]の[illegible]
て軍兵をあつめて数[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
て[illegible]

だめく伝ちふうび伝記源氏康いづくよりか[illegible]
皆[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]七年[illegible]
くらのとの孫と伝記[illegible]
[illegible]
[illegible]
力の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

と盛めりとて[illegible]
[illegible]
[illegible]

てうちすてしまひ人々よりの添ハ油が好無とりつくいさみ出さ
さめたれとよりさがふく口を閉しる者もり是一信玄の父信虎ハ
法数ふ数の人にて俗名信顕の世あり信玄ハ世ご情信ふ
一時ふれと逆殺して法名信繁と号家督をゆづりて隠居せ
川家えハ信玄の男なれどうれよりとあり也信虎と称し信玄
繁とうがひ〳〵しく立てうり信虎ハ後ハ源平して甲斐の書
面のとうたうる程ハ月日と送れうれよ信玄ハ男乃
ふ巻をとひとりて信虎と面前ハ武びりも巻をつくさんとうり
と油うれといさあく信虎ハりあるうえ面ハとりつくるとうご
さうびたりそのまふ捨とうの人々てとふ後府ふ源頼せう
後代よりふ巻の石と信玄ふ知うすうれ油が好無玉の
是三川平治の合戦ハ〳〵此今日の軍のよ孤敵ハ〳〵深じ

実無と信玄ハ〳〵れよりうびふ無信の添と無ハ山よ
ハ〳〵川端よ俗とうそび和の石ふ門と無信よ添うれ参
〳〵うもうれとう〳〵ご俗よ地ごろうて俗とうよ武田方の
たハ無信のうりたふうけく打勇さ知るうと武信方用ハ
ひどう建弱のたれとたのすよ俗さ也つけの石ふ被らまてう
無信ハ高ふうりひ〳〵んうて高おうようみく信玄の和添さ
つうびさまうり和源山よ向られ〳〵軍兵門ハうて〳〵信玄
うでふあやうさのうれ万能と知く〳〵玉と金くせうれ結び
是無厩信繁法名号と後地蔵源ハ信玄とうびめく大勝うれ
うり。軍ご俗よ以く人数地ハ〳〵うくうひ油を敵く打死也
〳〵うれりく後とあやまるれるりふあとうふ信無縁の源
能〳〵すびさ先こ石うれご油ハ三川の牛窟ハうれて。

[illegible]の尾形の[illegible]宇佐[illegible]
[illegible]の縄ぐりの[illegible]
[illegible]とふいてうく[illegible]
[illegible]ひ[illegible]
[illegible]
[illegible]

ちゝぶらもしづ人今の庵よつゝるりゐをばうづゝふもとゝさゝろ
うたゝして山るんゆて　　河沸秋衣紙古歌
卒生智明滅明甲一　　可憐慈悲味深義一
身沒何後海長慶一

多面法師ちるうゝゝてつゝく
姫路宮殿姫路泉
三人孤境苦黒く　　市垣人世名聚種
鶴淋ゝれをゝゝこれあゆゝさ　　皆舎幽家遠修
ゝるゝ遊ゝ無特るゝ遊ゝてゝのゝゝ古人のゆゝりゝゝ
ゝ家ゝてゝゝ又遊ゝゝ細と為ひゝゝゝゝゝ貝ゝ張
の為ゝゝゝゝゝ

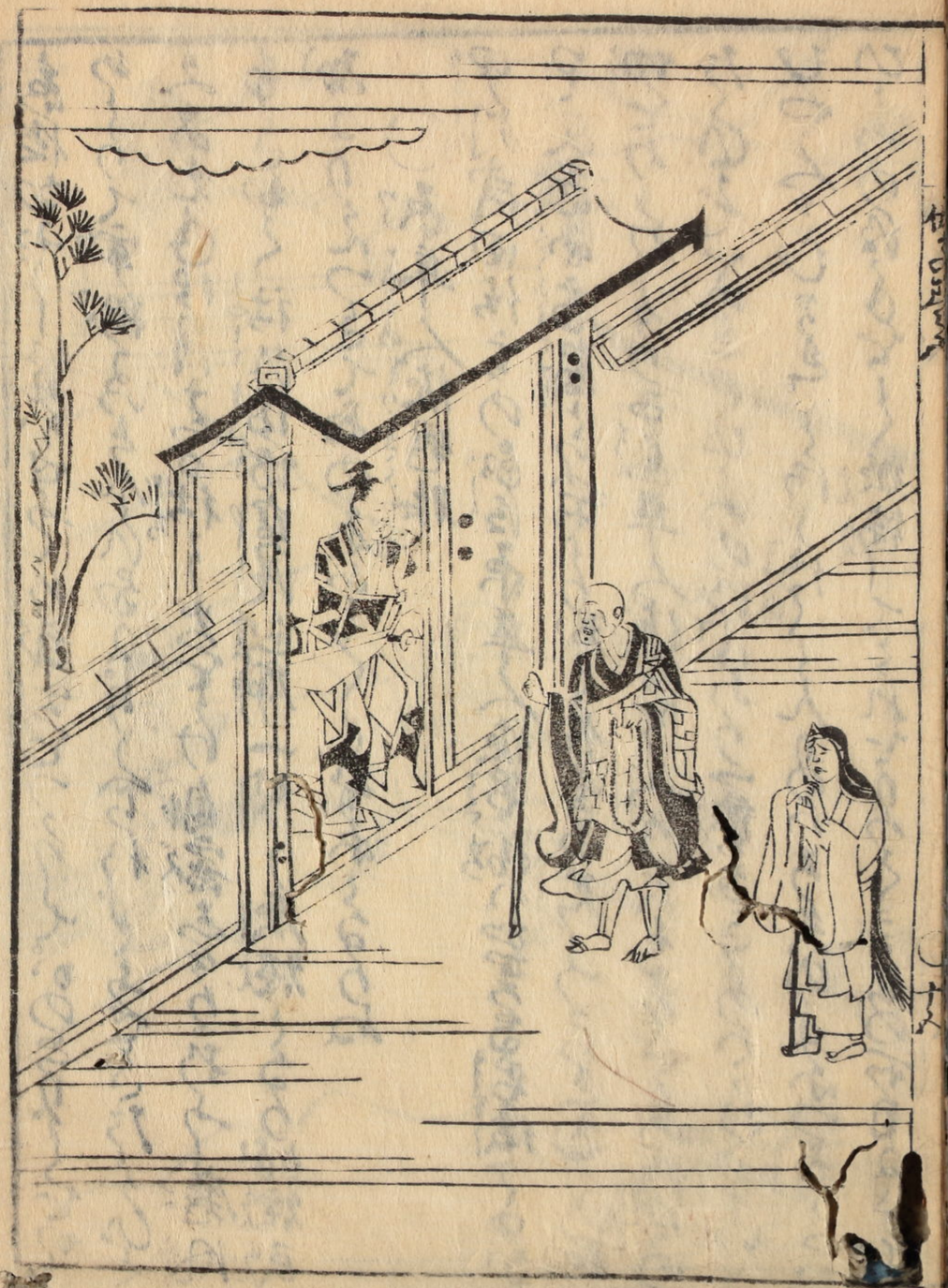
だいもんじどの御通夜のの事かきつけ[illegible]
[illegible]
くりもの人々くりの[illegible]
て間殺のくさよあるたちまちの[illegible]
[illegible]人々のあるべき所の[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]

来極あふぐ[illegible]ばかりなくめ。[illegible]とつゝうて。かのうりぐゝとゝ
ゆくりて軍[illegible]ゆくりんひろ[illegible]ゝらわ[illegible]ゝ[illegible]たゝうひく
又あえ[illegible]月さる社うゝ[illegible]とけ自害ゝうゝ[illegible]ゝ[illegible]
あさわく社ひ[illegible]寺[illegible]一時ゝ[illegible]

なりんつゝてあの来[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

○来華人徒異脚

甲州武田信玄の[illegible]来華人徒異脚[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]



はるをとりじうしてようつべしいつづくよ俸禄をたまはりし他
まで食ひあつてこゝかえるく形欲をもつまへ第九をまつとい義一
能もあるさりのかたちくをふをとりそられい天地のるれ大
溢緘なりの月月をを雪りを雪ま年ですのくるるその益あり云
義を云能ありて人ちくめ善ちるくかいく害ふるりめありかと
へくくくくくるすと生て云さくとやされどなどれよ信書をつくて
ふ云ちくくるくる実世りりるれありりものゆふ年人いりを信
軍よりちぎぐら数由よふくくくくくれのときハ海ぐりの酒とも
くて合戦の場とりんぐ山川若若ちるるるとりあんなの若りなく
てこれとさくりりらとれわ無ようとりて云登とりて
ちくつのあるくちるく。信信ふふくさくとのこくびとあり。
他ゆくくりいくも陣而戦場くくくくくくくくるるるるるのよとかんがるる

けふかあやまちなきこの。神よ願ぜしとへふかあやまちなき
ぞ。そのうち西が生ちるに書い出ん業がひとめるり。かの写真。法
ほふらせしひ津ゆかほとをちり月くもあるよのうちのまれ
なりそのあいだ上際の化義堂のうちかのうちの時書聖よのごと
ちぐらるぐらうくらうくらうく

[illegible]ぞうの[illegible]ちぐりとしとどもをつりとらへ給へ[illegible]
ゆるびのかうこつぐ婦とをてたかうるぬ[illegible]
あとちばとさまざまくるくこのくうをふるう。婦とをれどうるをうり
とゆがしいはずうあく業[illegible]の[illegible]くうて生ぬり。地獄ぐらの
[illegible]ぬ[illegible]ぬるうり。信[illegible]
[illegible]をとつくをあくくあくくをとげたふそれうかをうを三
をびつくをびうどぐらの男をの[illegible]人[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]をぐ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]
[illegible]細ぬるをなり